

有料老人ホームあれこれ

JASS中部では、数回にわたり「有料老人ホーム」の見学会を実施してきました。

JASS会員の皆さんは、老人ホームの内容についてどの程度ご存じでしょうか。

《主な老人ホーム》

介護保険施設	介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム) 介護老人保健施設 介護療養型医療施設
経費老人ホーム	
グループホーム	
有料老人ホーム	住宅型有料老人ホーム 介護付有料老人ホーム 健康型有料老人ホーム
ケアハウス	
サービス付高齢者向け住宅	

恐らく「特別養護老人ホーム」というのは耳にしたことがあるでしょう。身内の方が入所しているかもしれません。ゆくゆくは自分もと考えている方がおられるかもしれません。

しかし、いざという時にすぐに入居できるものではありません。入りたい時に入れないのが特養です。施設によっては、2年3年待ちともいわれています。

そんな時の選択肢のひとつが「有料老人ホーム」といわれるものです。

独りになって体の自由が利かなくなった時に、子供や身内に面倒をかけたくない、あるいは身内が遠くにいて面倒をみてもらうのが大変だ、というような時に利用されるケースが多いようです。

ただし、漫然と有料老人ホームなら、と考えるのは失敗のもと。有料老人ホームに入居する前には、入居一時金の額、毎月の経費、立地条件、サービスの内容など、詰めておかななくてはならないことが沢山あります。これらは、ボケてからでは

自分で決めることはできません。体力があり、判断力があり、決断力があるうちに手掛けておく必要があります。

そもそも有料老人ホームといってもその内容は千差万別です。入居一時金が4,000万円以上のところから「なし」というところまであります。毎月の経費も10万円台から30万円台まであります。

経費が高いから良いとは限りませんが、良いところは高いというのも事実です。

安いと思って入ったら、何事にもお金を取られるとか、少しでも基本と違うことを頼むと追加料金を取られる、というケースもよく聞きます。入居時に注意深く、契約書を読んでおきなさいと言われますが、細かくて膨大な契約書を読みこなすのは至難のわざです。

施設の説明だけでは、良いところしか言われなideでしょう。入居者に聞いてみることも必要ですが、そういう人を探すのも大変です。とにかく、今のうちからいろいろな老人ホームを見学しておくことが大切です。

見学のポイントは、まず第一印象…玄関に入ってすぐの感じを大事にしてください。なんとなく陰気くさいホームはやめましょう。明るくて、人々の元気な声が聞こえるようなら、まず合格です。施設の従業員の態度もみておきましょう。お客さん向けの笑顔なのか、本当の笑顔なのか、こちらがボケていては判断できません。

施設の昼食も食べてみて下さい。時には泊ってみることも必要です。昼間気が付かなかったことが見えてくるかもしれません。

入居してから、こんなはずではなかったのにと悔やんでも後の祭りです。これから有料老人ホームへの入居を考えている方は、そのホームでどういう生活を送りたいのか、何をしてほしいのかをしっかりと詰めておいてください。

高いお金を払って人生の最期を預けるところです。くれぐれも、慎重に選んで下さい。

中部運営委員 井ノ口繁一